



6月号
H. 29
6. 30



発行者
中西利彦

感動！ H29年度 運動会 Made in 住一 ~住一にか作れない最高の運動会~

1年生の順です。開会のあいさつや先週宣誓を立派に行うことができ、競技開始です。

個人競技に続いて、「みんなでジャンプ」

でしたが、各学年、各クラスが必死に取り組んでいました。みんなの気持ちこそ、連続記録は伸びません。1年生より2年生、2年生より3年生の方が記録は伸びていました。その後、粉浜幼稚園の園児がグラウンドを走り、応援合戦には北粉浜小学校の6年生も見学に来てくれました。

↑大縄跳び、応援合戦↓

6月9日（金）朝から快晴。練習に練習を重ねてきた運動会の本番を迎えました。生徒会役員が先頭に、入場行進が始まりました。そして、学級旗を先頭に各クラスの入場



た。どの団も迫力のある応援合戦を繰り広げてくれました。昼食後、部活紹介。日頃の部活動をアピールする時間です。文化部、運動部いっしょになって行進しました。昼からは



学年団体種目が続きます。1年綱引き、2年棒引き、3年ねずみ小僧です。3年生の種目は、仲間を信じるからこそ可能な競技です。3年生に限らず、どの種目も一人ではできない、みんなで力を合わせることで成り立ちます。お互いを認め、信じあえるからこそできる競技ばかりです。クラスのために、仲間のために力いっぱい頑張りました。

種目の最後に400、800Mリレーが行われました。仲間のため、学級のため必死で走っている姿が

↓閉会式、部活紹介↑



とても、心を動かされました。必死で頑張ることを嘲笑するような傾向が世間の一部にあるのは事実ですが、本校においては、がんばる姿を認める姿勢があり、それを嬉しく思います。閉会式では、学級旗、応援合戦、入場行進態度などの表彰が行われました。閉会式後、縦割りの応援団に分かれ、取組の最後の締めくくりの会を行いました。3年生を中心とした団により、上級生から下級生へと本校の良き伝統を引き継いでくれたと思います。何事にも一生懸命頑張る「住一にか作れない最高の運動会」で学んだことをこれをこれらの学校の生活に活かしてください。



進路保護者説明会

6月15日(木)



君たち中学生は、9年間の義務教育を終えて、次の進路にはばたく準備をしなければなりません。進む道は、高校や専門学校に進学する者、就職をする者などさまざまに違ってきます。そこで、中学校では、卒業後の進路について考える機会を設け、よりよい進路選択をしてもらいたいと考えています。3年生は、6月15日(木)に保護者の方々を対象とした進路説明会を行いました。特に、「進路の手引」とプリントを中心に進路主事の三輪先生から進路説明を行いました。「1. 中学卒業後の進路と最近の特色」「2. 高校進学と留意点」「3. 本年度の主な進路関係行事」「4. 奨学金・育英資金について」「5. 体験入学・学校見学会について」などを中心にお話しがありました。3年生は何事も、「コツコツと基本から積み重ねていってくだささい。1, 2年生の皆さんも、卒業後の進路について、真剣に考える時期が必ず来ますよ。」

スマートフォンやタブレットの使い方

5月8日が「いじめを考える日」(5.8いじめ防止の日)、全校朝礼で話をしました。しかし、本校でもいじめが全くなかったかというところではありません。特に、そのいじめの特徴として、スマホなどの情報機器を使ったいじめがありました。いわゆる、

デジタルタトゥーなど取り返しがつかないことがあるよ。使い方を間違えれば、

る、ラインというものを使い、悪口を言ったり、その情報を広げたりしていました。もちろん、見つけ次第、指導をしました。最近、スマホ等の普及でラインでのいじめなど、ネットトラブルが増えています。皆さんは、インターネットにつながる端末としては何を持っていきますか？スマホ？パソコン？ポータブルゲーム機？また、それを使ってどんなアプリを使っていますか？無料動画のYouTube、無料通話のライン、それとも、フェースブックやインスタグラムですか？正しく使えば便利で楽しいアプリですが、仕組みを知らずに使っていると大変なことになります。数年前、アルバイト先でいたずら画像を撮ってネットに公開した人がいましたが、その人は、その後良くない行為だったと反省をしたのですが、いまだにその画像はネット上から消えることはありません。もう自分で消した



いと思っても、消せないのが現実です。このよ

うな人は、就職を希望しても、ネット社会から情報が消えないため、こんないたずら画像を公開するよ

うな人は、うちでは採用できないということ、な

りたい仕事につけないということ、仕事を知ら

らないので、SNSにコメントを投稿するということ、

Eメールを使うことが区別できない人もいます。ツ

ィッターやフェースブックなどのSNSはコメン

トや画像などが多くの人の端末に残り続ける場合

があります。人の写真を勝手に投稿し、不審者の目

にとまり、ストーリー被害などの被害にあうこともあ

ります。人を傷つけるコメントやネット上に書き込

んだいじめは、多くの人の端末に残り、結局回りま



わって、加害者である自分が、希望する仕

事に就けないということになります。また、ユ

ーチューブなどの無料動画サービスにはまって、偏

った情報の深みにはまり、人格も変わってしまうと

いうこともあります。正しく使うと便利で楽しいも

のですが、使い方によっては大変なことになること

を知っておいてください。困ったことがあれば、先

生に相談してください。「先生はどっせ詳しくない

から相談しても…」と思う人もいるかもしれませんが

が、より詳しく知っているおとなにつながることで

できますので、相談してください。

保護者のみなさまへ(ネットトラブルの)

被害者だけでなく、いつでもすぐに加害者

にもなってしまう情報端末について、保護

者の皆さんと学校とで連携を図っていかな

ければならないと思っています。お子さんが、スマ

ホなどの情報端末が気になって仕方がない様子や

それを使う態度が気になるといったことがあれば、

学校に相談していただければ、一緒に解決の手立

てを見つけていけることができるかと思えます。是非、普

段からお子さんごルールや情報機器に関する会話

の場を作っていただきますようお願いいたします。



編集後記

6月が終わりますが、今年も半分が過ぎました。お正月に立てた計画は進んでいるでしょうか？また、1学期も、3週間ほどになりました。とりは夏休みを待つばかりと浮かれています。これから、夏休みに入るまでに、しっかりとこれまでのことを振り返り、今後の計画を立てる時間にしてほしいと思っています。